



シュウブンソウ キク科 花：8-10月 多年草。葉は膜質、両面に剛毛あり。花は葉腋につく短い枝に頂生。

コヤブタバコ キク科 花：8-10月 2年草。葉と茎は軟毛が生える。葉柄に広い翼あり。雌花、両性花がある。

ガンクビソウ キク科 花：9-10月 多年草。葉は不揃いな鋸歯。小花は黄色。総苞の下に2-4個の苞葉あり。

サジガンクビソウ キク科 花：8-9月 多年草。茎・葉に開出毛が密生。葉に鋸歯はほぼない。頭花は緑白色。



アキノキリンソウ キク科 花：10-11月 多年草。頭花の外周1列は雌性舌状花、中央は両性筒状花。

センボンヤリ (別名ムラサキタンポポ) キク科 花：春4-6月・秋9-11月 多年草。秋は筒状花のみの閉鎖花を花茎の先に1個つける。冠毛は褐色。

キッコウハグマ キク科 花：10月 多年草。地下茎で這う。五角形の葉、長い葉柄。頭花は3個の小花からなる。

コウヤボウキ キク科 花：10-11月 小低木。1年時は卵形の葉で開花、2年時は鋸歯葉が束生、花はない。



サワヒヨドリ キク科 花：8-10月 多年草。茎上部は縮毛密生。葉は3行脈、披針形で無柄。5小花ある。

ヒヨドリバナ キク科 花：8-10月 多年草。山地性。葉は薄く柄は短い。両面に縮毛散生。花冠は白色。

ヌマダイコン キク科 花：9-11月 多年草。湿地。瘦果はこん棒状で腺点があり、表面は疣状の突起がある。

オカダイコン キク科 花：9-11月 多年草。瘦果はこん棒状で腺点があり、表面はほぼ平滑で疣状の突起はない。



キセルアザミ (別名マアザミ) キク科 花：9-10月 多年草。湿地。葉はまばらにつく。花は下向きに咲き、花後は上を向く。

ヤクシソウ キク科 花：8-11月 2年草。全体無毛。下部の葉は茎を抱く。舌状花は12-13個。

スイラン キク科 花：9-10月 多年草。湿地。葉は細長い。葉裏は粉白色を帯びる。総苞は披針形。

アキノノゲシ キク科 花：9-11月 1-2年草。淡黄色の頭花は日中開花し夕方閉じる。茎を切ると乳液が出る。

ビジターセンター バードピア 浜北

自然情報の発信、自然体験プログラムなどを通じて、静岡県立森林公園の自然の魅力を発信しています。

- 入館料：無料
- 開館時間：9:00~16:30
- 休館日：毎週水曜(祝日の場合は翌日)と年末年始(12/29~1/3)

木工体験館

気軽に木工作業を楽しむことができます。工具はそろっているので、手ぶらでお立ち寄りください。

- 木工作：金・土・日
- 開館時間：9:00~16:30 初回利用時に「初心者利用講習」受講が必要です。
- 休館日：月・火・水と年末年始(12/29~1/3)
- 問合せ：☎053-583-1559

写真：瀬下 亜希 【撮影地はすべて園内です】

静岡県立森林公園の 秋の草花



ミズオオバコ 環境省絶滅危惧II類 (VU) トチカガミ科 花：8-10月 1年草。葉は沈水性、葉柄あり、縁は波打つ。両性花、花弁は3個。

ナキリスゲ カヤツリグサ科 花：10-11月 多年草。秋に開花。小穂が多数つく。葉の縁がザラつく。叢生する。



イワショウブ (別名ムシトリゼキショウ) チシマゼキショウ科 花：10月 多年草。花柄に腺毛あり粘る。花は苞から3つ出る。根生葉は線形。

ホトトギス ユリ科 花：10月 多年草。花は葉腋に上向きにつく。3裂の花柱の先は二又になる。

台湾ホトトギス ユリ科 花：10-11月 沖縄西表島に自生、台湾に生育。花は散房状につく。園芸栽培される。

シラタマホシクサ (別名ホッソ) ホシクサ科 花：8-10月 1年草。日本固有種。頭花は白い毛のある雄花と雌花が集まる。



ササクサ イネ科 花：9-10月 多年草。葉が笹の形に似る。葉鞘と葉身の間に柄がある。

トダシバ イネ科 花：9-11月 多年草。小穂は柄があり、緑色または紫色を帯びる。葉舌の縁は有毛。

アシボソ イネ科 花：10月 小穂に芒あり、苞穎の縁に上向きの毛あり。ヒメアシボソは芒がない。

ササガヤ イネ科 花：10月 小穂は短柄と長柄が交互に出る。葉鞘の閉じ口に毛あり。花序の枝は3-6個。



コブナグサ イネ科 花：10-11月 小鮎に似た葉。葉は茎を抱く。葉の縁の剛毛も特徴。総は掌状につく。

ミゾソバ (別名ウシノヒタイ) タデ科 花：9-10月 葉が牛の顔のような形。托葉鞘は筒状で、上部が円い翼のものがある。

ウナギツカミ (別名アキノウナギツカミ) タデ科 花：9-10月 葉の基部は茎を抱く。茎に下向きの刺。托葉鞘上部は斜めに切れた形。

ヤノネグサ タデ科 花：9-10月 葉の基部は切形か浅い心形。托葉鞘の縁に長毛。花の上部は濃い紅色。



イヌタデ (別名アカマンマ) タデ科 花：8-10月
1年草。辛味なし。紅色の花被は瘦果を包む。托葉鞘とほぼ同長の縁毛あり。

ハナタデ (別名ヤブタデ) タデ科 花：8-10月
1年草。葉は尾状に尖り斑紋。花はまばら～密。托葉鞘よりやや長めの縁毛。

シロバナサクラタデ タデ科 花：8-10月
多年草。湿地。地下茎で這う。花被は白色。異型花柱性。

ポントクタデ タデ科 花：9-10月
1年草。水辺。葉に斑紋あり、辛味は無い。花序は垂れる。



イタドリ タデ科 花：8-9月
多年草。茎は中空、葉は有柄。雌雄異株。若い茎は酸味があり食用。

ウメバチソウ ニシキギ科 花：11-12月
多年草。湿地。花には緑色の部分に裂け黄色い腺体のつく仮雄蕊がある。

ヤハズソウ マメ科 花：8-10月
1年草。小葉をひっぱると矢筈の形に切れる。茎に下向きの白毛がある。

ハイメドハギ マメ科 花：8-10月
多年草。メドハギの変種。下部の茎が地を這う。旗弁は紫色を帯びる。



ネコハギ マメ科 花：8-9月
多年草。茎は地を這う。全体に毛がある。閉鎖花が上部葉腋につく。

ヌスビトハギ マメ科 花：7-9月
多年草。小節果は2個、表面にカギ状の毛があり、動物などにくっつく。

アレチヌスビトハギ 北米原産 マメ科 花：8-10月
多年草。花はヌスビトハギよりも大きい。小節果は5-6個。

ノササゲ マメ科 花：8-9月
多年草。ツル性。茎は黒紫色を帯びる。葉裏は白っぽい。萼の先端は斜め。



ヤブマメ マメ科 花：8-10月
1年草。ツル性。豆果は縫合線に伏毛あり。閉鎖花が地下茎につき結実する。

ツルマメ マメ科 花：8-9月
1年草。ツル性。茎は褐色の逆毛あり。小葉は両面に伏毛あり。大豆の原種。

ヤブツルアズキ マメ科 花：8-10月
1年草。ツル性。葉先は尖りやや3裂、両面に黄褐色の長毛。栽培品種が小豆。

スズメウリ ウリ科 花：8-9月
1年草。果実は白色。土にもぐったツルの先端が塊根となり越冬する。



センブリ リンドウ科 花：10-11月
2年草。草地。全草苦い。線形の葉。花冠裂片基部に蜜腺溝。

イヌセンブリ 県準絶滅危惧 (NT) 環境省絶滅危惧II類 (VU) リンドウ科 花：10-11月
湿地。苦くない。倒披針形の葉。花冠裂片基部に蜜腺溝と長毛。

アケボノソウ リンドウ科 花：10月
2年草。茎は4稜。黄緑色の蜜腺にキイロシリアゲアリなどが来る。

テリミノイヌホオズキ 北米原産 ナス科 花：8-10月
茎が角ばる。熟す前の緑色の果実は白い斑点あり。果実萼片は反る。



ヒメシロネ シソ科 花：8-9月
多年草。湿地。地下茎より直立。花は葉腋につく。葉は鋭い鋸歯。

ヤマハッカ シソ科 花：9-10月
多年草。茎の稜に下向きの毛がある。鋸歯は鋭頭～鈍頭。葉柄に翼ある。

ヒメジソ シソ科 花：9-10月
1年草。茎の稜に下向き短毛、節に白毛。1-3 cmの葉柄あり、鋸歯は鋭頭。

ノダケ セリ科 花：9-11月
多年草。3出羽状複葉。葉裏は白み。葉柄は袋状に膨らむ。花は暗紫色。



ムカゴニンジン セリ科 花：8-11月
多年草。湿地。葉腋にむかご。太い根は食用。花弁の先が内に曲がる。

サワギキョウ 県準絶滅危惧 (NT) キキョウ科 花：9-10月
多年草。湿地。茎は中空で分岐せず。葉は無柄。花冠裂片の縁に白毛あり。

オミナエシ スイカズラ科 花：8-10月
多年草。秋の七草。茎の下部に粗毛。地下茎は這う。葉は対生。

オトコエシ (別名 敗醬) スイカズラ科 花：8-10月
多年草。全体に多毛。葉は対生。別名は、水につけると臭いことから。



ツルニンジン (別名ジソブ) キキョウ科 花：9-10月
多年草。ツル性。塊根がある。葉は互生。ツルを切ると乳液が出る。

サワシロギク キク科 花：8-10月
多年草。酸性の湿地。舌状花は1列で白色、のちに淡紫色へ変わる。

ヨメナ キク科 花：10-11月
多年草。地下茎で増える。葉はほぼ無毛で光沢がある。冠毛は0.5mm。

ノコンギク キク科 花：10-11月
多年草。地下茎で増える。茎、根出葉両面に短毛多い。冠毛は4-6mm。

【静岡県レッドデータブックカテゴリ一覧】

絶滅	静岡県では既に絶滅したと考えられる種	絶滅危惧II類	絶滅の危険が増大している種
野生絶滅	飼育・栽培下のみで存続している種	準絶滅危惧	存続基盤が脆弱な種
絶滅危惧I類	絶滅の危機に瀕している種	情報不足	評価するだけの情報が不足している種
絶滅危惧IIA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	絶滅のおそれのある地域個体群	地域的に孤立している地域個体群で、絶滅のおそれが高いもの
絶滅危惧IIB類	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	要注目種	現状不明(現状が不明な種)、分布上注目種等(絶滅の危険性は小さいが、静岡県独自のカテゴリ)
			分布上注目される種)、部会注目種(その他部会で注目すべきと判断した種)

【参考文献】「日本の野生植物 草本I 単子葉類」佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎、巨理俊次、富成忠夫 編(平凡社)、「日本の野生植物 草本II 離弁花類」佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎、巨理俊次、富成忠夫 編(平凡社)、「日本の野生植物 草本III 合弁花類」佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎、巨理俊次、富成忠夫 編(平凡社)、「山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花 増補改訂新版」林弥栄 監修、門田裕一 改訂版監修、平野隆久 写真(山と溪谷社)、「山溪ハンディ図鑑2 山に咲く花 増補改訂新版」門田裕一 改訂版監修、永田芳男 写真、畔上能力 編・解説(山と溪谷社)、「まもりたい静岡県の野生生物 2020【植物・菌類編】」静岡県レッドデータブック(静岡県)